

中央眼科 グループ広報誌

CHUOU ●●●
EYE CLINIC

中央眼科定期発行広報誌

vol.3

ご自由にお取りください
TAKE FREE

先進医療認定施設による白内障手術
cataract surgery



特集
最新鋭の手術法
「レーザー白内障手術と多焦点レンズ」

白内障手術後に
見え方が変わってしまう……？
最新鋭の手術法とは……？



The LenSx® Laser equipped
with the VERION™ Digital Marker



横須賀中央眼科院長
勅使川原 剛



横浜鶴見中央眼科院長
酒井 由起



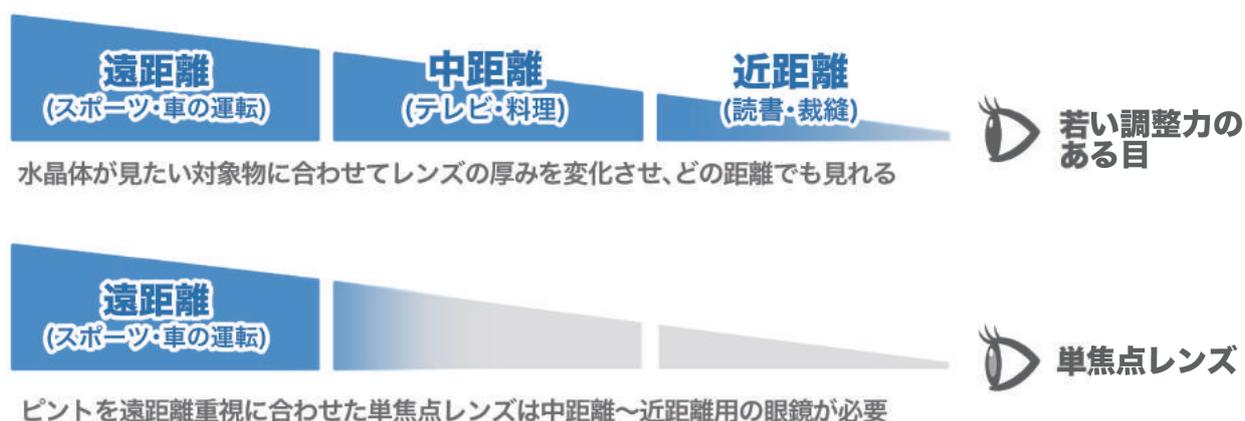
衣笠中央眼科院長
陳 介任

- P.2 …… なぜ白内障手術後は見え方が変わってしまうのか？
- P.3 …… 最新鋭手術法「レーザー白内障手術と多焦点レンズ」のご紹介
- P.4 …… ワークショップ・スタッフダイアリー・医院長メッセージ

ご存知でしたか？白内障手術後は今までと見え方が変わります

手術後の単焦点レンズでは一定の距離にしかピントが合わない

私たちの目は「**水晶体**」というレンズが、厚みを変えることで遠くや近くにピントを合わせることができ、その力を調節力といいます。調節力のある若いときは近くから遠くまで見ることができますが、**白内障手術後**に入れる**単焦点眼内レンズ**は水晶体のように厚みを変化させることができず、1点にしかピントを合わせることができません。そのためピントを合わせた距離はハッキリと見ることができますが、合わせいてない距離は眼鏡をかける必要があります。



先進医療対象『遠近両用 (多焦点レンズ) 眼内レンズ』の登場

ピントを多焦点 (2焦点3焦点) にすることで快適な視界に

先進医療対象「**多焦点眼内レンズ**」は2点にピントが合うレンズです。単焦点眼内レンズに比べてピントの合う距離が格段に広がるので、**眼鏡をかける頻度**を減らすことができます。

ただし手術後は調節力のある目のように自由にピントを合わせることができないので、たとえ多焦点眼内レンズでも見えにくい距離は眼鏡が必要になることもあります。多焦点眼内レンズを入れた**90%の方は、眼鏡なしで生活**されています。



- 単焦点眼内レンズは、健康保険が適用されます。
- 先進医療対象多焦点眼内レンズは健康保険の適用がありませんが、先進医療に指定されています。
- ※生命保険などで先進医療特約に加入されていれば、保険会社から支払われます。

今までと変わらない生活がしたい方必見！最新鋭の手術法 「レーザー白内障手術と多焦点レンズ」

横須賀中央眼科と横浜鶴見中央眼科ではレーザー白内障手術「LenSx (レンズエックス)」を導入しました。横須賀市では初めての導入ですので、どこよりも早く最先端の手術を受けることができます！

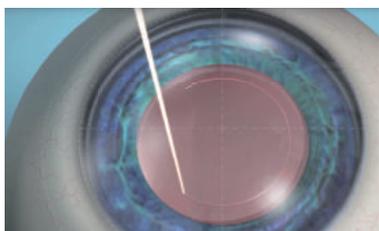
手術で最もむずかしい治療工程をすべてレーザーが行います！

白内障は手術治せる病気です。これまでは医師の手による手術が一般的でしたが、中央眼科グループでは**レーザーによる白内障手術**を導入しました。

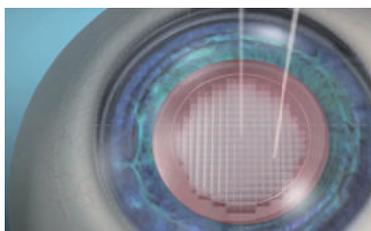
白内障手術で最もリスクが生じる工程をすべてレーザーが行うことで、**安全性が格段に向上**しました。

手術の機械が進化するのと同じように、目の中に入れる眼内レンズもより良いものが作られています。

レーザー白内障手術ではレンズを正確な位置に配置することができる為、レンズの効果を最大限に引き出すことができます。**中央眼科グループ**では複数の**多焦点眼内レンズ**をご用意しています。



最先端のLenSx レーザーを使用する事で、患者様の目に合わせた手術が可能になりました。



内蔵のリアルタイム3D光干渉解析装置を用いて、個々の目に合わせた手術を行う事が可能になりました。

一人ひとりの患者さんの目に合わせた手術ができる

正確なレーザー照射と短い施術時間

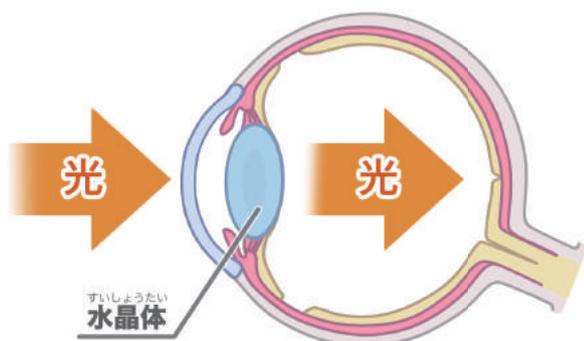
合併症のリスクが軽減
(飛蚊症・後発白内障・眼内レンズの偏位・脱臼・嚢胞様黄斑浮腫・術後眼内炎)

そもそも白内障ってなに…？

白内障とは目の中の**水晶体**が濁ってくる病気のこと。

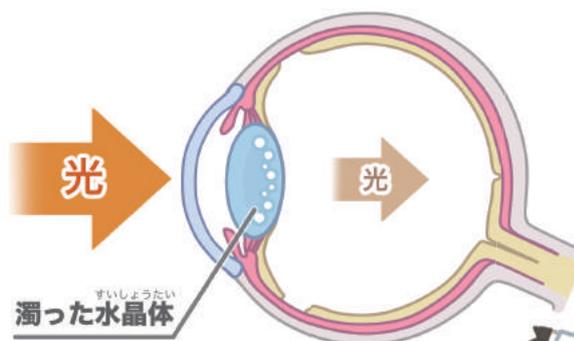
目の構造はよくカメラに例えられますが、水晶体とはピントを合わせるレンズと同じ役割をしています。白内障の多くは加齢によるもの。古いカメラで撮った写真はピンボケのようにぼーっとしていますよね？それと同じように**水晶体が濁ってくると、見えづらくなってくる**のです。

正常な眼球



正常な水晶体は透明で光をよく通します。

白内障の眼球



水晶体が濁ると光が通りづらくなります。



中央眼科グループ学術活動報告



中央眼科グループでは国際学会において白内障手術関連の発表を定期的に行っています。

2017年は勅使川原医師により下記の学会で発表を行いました。

- ARVO-Asia in ブリスベン
- ESCRS in リスボン

2018年予定

- APAO in 香港
- APSCRS in チェンマイ
- ESCRS in ウィーン

STAFF DIARY ~ 中央眼科グループで働く人たち ~

先進医療認定施設
 **横浜鶴見中央眼科**



看護師 河井さん

横須賀中央眼科に務めて14年目の平成29年4月に、横浜鶴見中央眼科に転勤しました。横須賀の患者の皆様のお顔を思い浮かべながら、横浜鶴見中央眼科で地域の皆様から信頼される質の高い眼科医療に携わる喜びを感じつつ、今日も楽しく仕事をしています。

〒238-0008 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-2-4
 Tel: 045-508-1017

先進医療認定施設
 **横須賀中央眼科**



受付 倉島さん

美味しそうなお店を探す事と都内のいろいろな場所を歩くことが好きです。行く先々でも「次はココ！」と行きたいお店の候補がどんどん増えていきます。次の楽しみはホテルのクリスマスビュッフェとイルミネーションを見に行くことです☆赤レンガと櫻坂のイルミネーションが大好きで毎年癒されています。年末年始のお休みには京都へ初めてのひとり旅に出かけるので、いろいろ計画を立てている時間が楽しいです☆

〒238-0008 神奈川県横須賀市大滝町2-6
 ザ・タワー横須賀中央ドレ3階
 Tel: 046-857-40001

 **衣笠中央眼科**



受付 大澤さん

私が今頑張っていることは朝のお弁当作りです。料理が苦手なので時間がかかってしまい、毎朝朝は戦いです。栄養を考えて作らなければと思ってはいますが、あまりレパートリーを持っていないので大部分は冷凍食品の力を借りてしまっています。今後はもっと色々な種類のおかずを作りたいです。

〒238-0032 神奈川県横須賀市平作8-20-8 衣笠・かつみクリニックビルII 2F
 Tel: 046-850-6188

中央眼科通信 vol.3 発刊のご挨拶

勅使川原 剛 横須賀中央眼科 院長
 横浜鶴見中央眼科手術部門担当

みなさんこんにちは。横須賀中央眼科院長の勅使川原です。
 今回の中央眼科通信では最新の白内障手術であるレーザー白内障手術と多様化した多焦点眼内レンズの特集を致します。従来のマニュアルによる（全て術者が行う）手術と比べ、より正確で再現性の高い手術を可能にするレーザー白内障手術と、患者さんのライフスタイルに合った各種多焦点眼内レンズを組み合わせる事により世界レベルの白内障手術を提供して参ります。
 その他、海外学会での発表報告やスタッフダイアリーも合わせてお楽しみ頂けると幸いです。